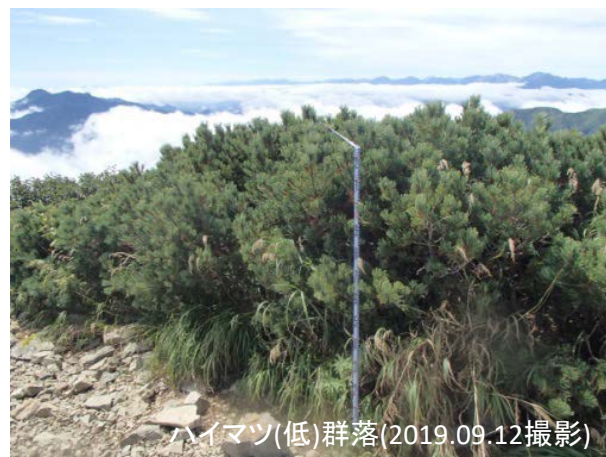


管轄森林管理局・署	関東森林管理局 上越森林管理署
所在地	新潟県糸魚川市・妙高市
面積	826.74 ha
設定年	2009(H21)年
保護林の概要 (設定目的)	裏金山～焼山～影火打～火打山～雷鳥平に連なる稜線で、ハイマツ及び妙高山連峰高山植物地帯(高山荒原雪田群落)を保全し、ライチョウ及びその生息環境を保護するため設定した。



ハイマツ群落(2019.09.12撮影)



ハイマツ(低)群落(2019.09.12撮影)

## モニタリング調査概要

実施年度	2014年、2019年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査、動物調査等
調査手法	森林詳細調査として、ライチョウが好んで利用する丈の低いハイマツ、その周辺の矮性低木が優占する風衝地において調査プロットを合計12箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。動物調査として、調査プロットまでの経路に1つの調査ルートを設定し、保護林内における出現種を把握。
結果概要	ライチョウの生息に適した環境の消失が進行している可能性が高い。ハイマツの高木化が進行している。ハイマツが営巣環境として利用されず、クロウスゴ、ハクサンシャクナゲ、タカネナナカマド等で構成される風衝低木林で営巣する事例が存在することから、本保護林を構成する植物群落における利用特性を把握する必要がある。ライチョウの天敵となる、テン、キツネの糞が確認されている。